

製品検査分析管理システム

～ハンディターミナルを使用して、分析計測値を電子化！～

概要

◆ 製品検査分析管理システムとは

スマートファクトリーを推進するためには、製造現場のあらゆる情報が電子化され、データとして取り扱うことができる環境作りが必須です。

これまで困難だったあらゆる分析計の出力結果を電子化することで、さらなるデータ活用を支援します。

◆ 操業現場の課題



- 分析計に外部出力方法がないため、データを電子化できない。
- 帳票作成など人手による業務負荷がかかっている。
- データトレースができない

※分析計の例) brix計、密度計、pH計、酸度計、分光光度計など

特長

- 分析計等によるサンプル検査の測定値をハンディターミナルで取得
- 時間経過観察が必要なサンプルについても管理可能(バーコード管理)
- お客様が自由に作成された帳票フォーマットに自由記述、帳票の自動作成が可能
- 分析値読取毎に基準値を逸脱していないか瞬時に通知
- 貴社新商品や分析項目はマスターデータで一括管理 → 追加、変更も容易

作業効率向上

誤作業防止

高品質の維持

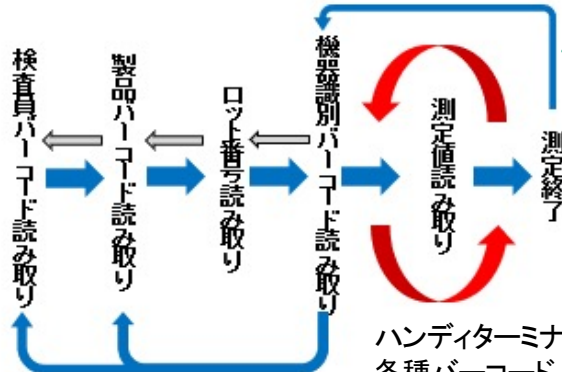
自動帳票

検出	製品	ロット番号	分析計	測定値	検査員
0.00	製品 1	ロット 1	分析計 1	1.00	〇〇〇
0.00	製品 2	ロット 2	分析計 2	2.00	〇〇〇
0.00	製品 3	ロット 3	分析計 3	3.00	〇〇〇
0.00	製品 4	ロット 4	分析計 4	4.00	〇〇〇

品種や分析項目の追加も容易



ハンディターミナルのOCR機能で、外部出力機能のない分析計からのデータ取込も可能



測定値判定

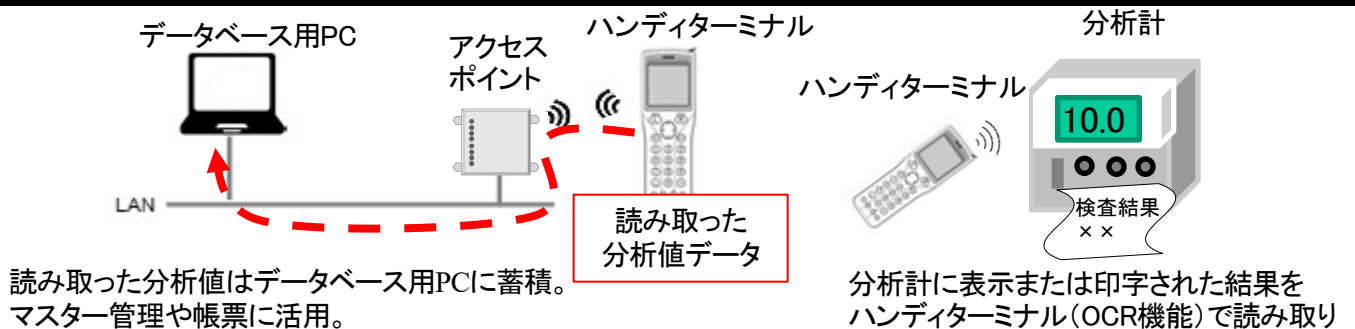
ハンディターミナルを使用して、各種バーコード、測定値を読み取り、データベースPCに保存します

※OCR機能
Optical Character Recognition:光学文字認識

機能一覧・導入効果

機能	導入前	導入後
測定値のハンディターミナル読取り	分析計に外部出力方法がなく、帳票に手記入していた。	ハンディターミナルを使うので、転記ミスがなくなるだけでなく、作業時間が大幅に短縮された
帳票作成の自動化	手記入での帳票作成なので、文字が読み取りにくかったり、転記ミスが発生していた	・帳票作業時間がほぼゼロになった ・帳票がペーパーレス化された
測定値判定	作業員が測定値の異常を判断していた。異常時は経験豊富な作業員が対応していた。	分析値読取毎に基準値内を逸脱していないか瞬時に通知するため、作業効率がよくなった。
品種や分析項目のマスタ管理	別途Excelファイルで管理していた。	マスタデータ管理が簡単なので、Excelよりも管理が楽になった。

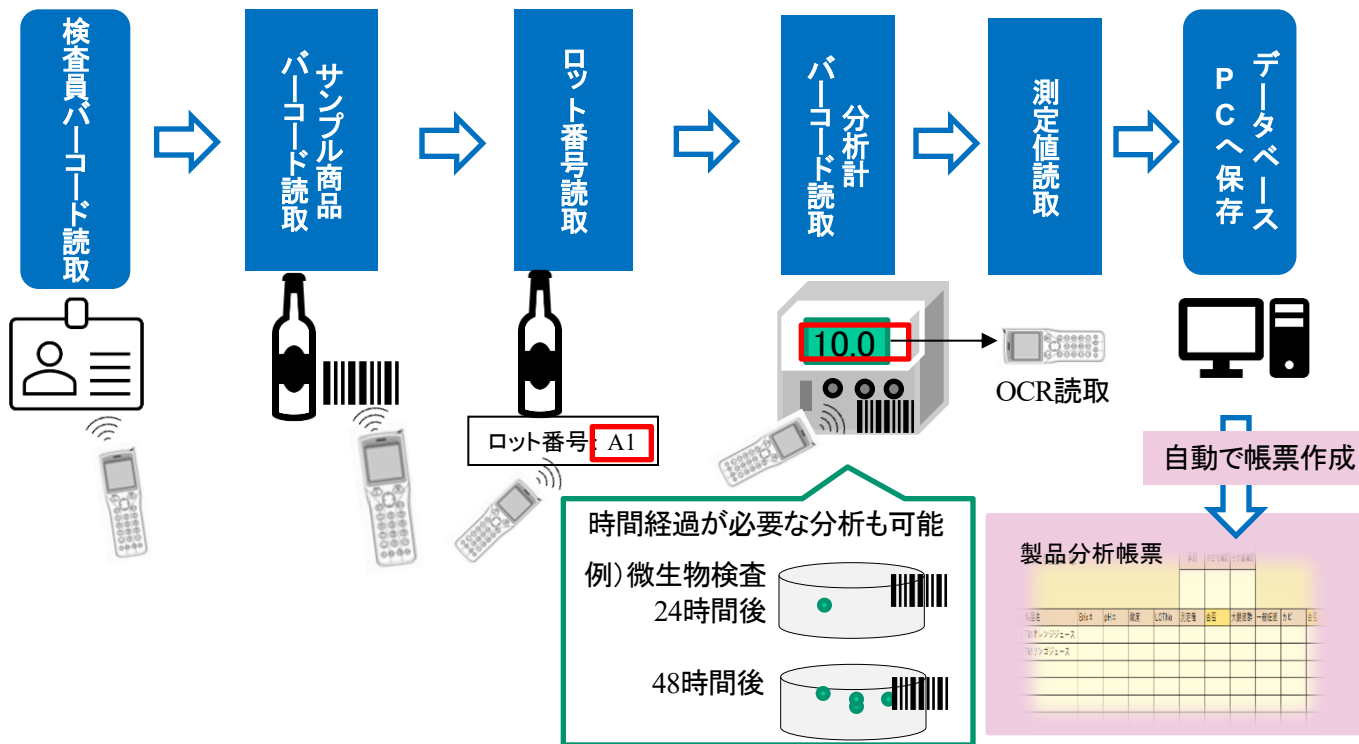
システム構成例



※データ値のインターフェースについては、他の取得方法も対応可能です。

導入事例

某食品メーカー様導入事例



TMEiC 東芝三菱電機産業システム株式会社

本社：〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン
URL <http://www.tmeic.co.jp/>

●本カタログのお問い合わせ

営業窓口 Tel: 03-3277-4413 Fax: 03-3277-4574
技術問合せ Tel: 03-3277-4438 Fax: 03-3277-4572
Mail: info-filling-line@tmeic.co.jp

●営業拠点 連絡先

URL <https://www.tmeic.co.jp/corporate/network/>

・Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
・Microsoft、Windows、Excelは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
・その他、記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
・記載されている会社名および製品名などには、必ずしも商標表示(®、™)を付記していません。
・本カタログに記載された内容および製品仕様は、予告なく変更することがあります。



安全に関するご注意

正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず「取扱・操作に関する説明書」をお読み下さい。

TP-20210225-005-A